まえがき

あなたは、女性として生まれたことを嬉しく思っていますか？
あなたは、女性として生きることを満喫していますか？

かつての私は、女として生まれてきたことを呪っていたの。

幼少期の頃、男の子になりたくて母に聞いたもの。
『ねぇ、なんであたしにはおちんちんついてないの？』
『香織瑠がお腹にいるときによく暴れたから、落としてきちゃったんだよ』と。
それを聞いたとき、とってもショックだったのを覚えている。
その頃から、なぜ私は男に生まれなかったのか？　と疑問を持ち始めたの。

そんな思いは、物心ついて大人になっても変わることはなかった。
むしろ、ますます強くなっていった。

生まれ変わったら絶対に男に生まれたいと、強く強く願っていたの。
そしてそれは、私の恋愛成就を著しく邪魔した思考だったのね。

私は恋を知った頃より、恋愛依存症、セックス依存症……、常に恋をしていなければいられない女。

「自称、1000人に愛された女」と聞けばなんとなくカッコいいイメージだけど、実際の私の男遍歴は、はちゃめちゃなもの。
普通というのがどんなレベルかは検討がつかないけど、おそらく私は普通の女性よりもとても欲深く、そして幸せになりたいという欲望も人一倍強かったのです。

だから、七転び十二起きぐらい頑張って恋愛をし続けてきた。

一つの恋が終われば、はい、次！　はい、次！　と、次から次へと男を渡り歩いた。私の上を通り過ぎていった男は数知れず。

あれだけ男に生まれたかったと心から願っているのに、恋愛はしたいのね。

しかしながら、どんなに恋を重ねようと、どんなに人より多く恋愛をしようと、なかなか幸せをつかめない……。あともう少し……。あと少しこの恋が続いたら……と思うもするりと消えていく幸せ。

私はいつだって一生懸命！

頑張って生きているし、彼にだって尽くしている。

それなのに、なぜ幸せになれないの⁉

『神様の馬鹿野郎‼』

神様なんてこの世にいるわけないんだよ！

そして、美人は幸せになれるし、私みたいなブスは一生幸せになんてなれはしないんだよねっ！　って、自分の人生を呪っていた。

でも、いろいろ学んでいくことで人生は変えられることを知り、実行していくにつれ、どんどん私の人生は望む現実が引き寄せられていったの。

そう、『女は50から』私の合言葉のようなもの。

年を重ねてきた今では思うの。

若い頃って、誰でも美しいのよ。

そして、自分を見つめたり人生立ち止まったり、あまりしなくてもそのときの勢いで生きちゃっているってところあるよね？

でも、20代30代と年を重ね、だんだんと自分が仕上がってくる。そして、40代ってなるとほとんど決まってくる。

結婚して家事や子育て、夫の世話やら舅・姑問題など、落ち着いてくるのが50代頃から。

それまでにどんな生き方をしてきたか？
どれだけ自分の世話もしてきているか？
その差が歴然としてくるのが50代なのよ。
だから、そこからが本気の勝負。そこからが自分自身の人生。

人生の40代から50代ぐらいまでは、過去世の宿題を生きると言われているの。
そして、そこから自分の人生を生きる。自分がしたかったこと、本当に望む人生はこれからなのよ。
しかしながら、そこを諦めかけている熟年女性の方が多いこと。
どうせ私の人生なんて……。もう今さら……。
そんなことをこれっぽっちでも思っているなら、なんてもったいない‼

あなたの人生が輝き始めるのはまさにこれからなのよ！

私はこのたび、出版というご縁を頂いたことに心から感謝し、そんな悩める熟年女性の皆様がもっと恋愛を楽しむことを、そしてもっと人生を謳歌することを望んでいます。

あなたのセクシャリティを覚醒させたら……。

あなたのまだ眠っている女性性を目覚めさせたら……。

あなたの恋愛・お金・仕事すべての歯車が噛み合い、人生そのものがスムーズに廻りだし、望む世界をじゃんじゃん引き寄せていく。

そんなことをお伝えすべく、筆を執ることを決意したの。

それは、私のボロボロだった人生が、ツインレイのダーリン様と出会ったことにより、まるで韓流映画のヒロインのように輝きだし、日々幸せに満たされ、人生が大逆転したことで、それを実証したから。

あなたも、あなた次第で人生が爆上げして、まるで違う道を歩むことができるんだってことを知ってほしいの。

女は50から……、ワクワクしながら人生を楽しみましょ。

本章では、私の人生での男遍歴や経験をまじえて、引き寄せの方法、セクシャリティの覚醒とは何かと、そんな生き方の方法をお伝えするわね。